

道徳科学習指導案

学校名 三次市立甲奴小学校

指導者 小田 慎太郎

- 1 日時 令和3年 10月5日(火) 第5校時
- 2 学年 第2学年 18名
- 3 主題名 してはいけないこと【内容項目 A 善悪の判断】
- 4 ねらい 割り込みをしようとした友達にはっきりと「いけないよ」と言った「ぼく」の気持ちを考えることを通して、割り込みはどんな場合でもいけないことを知り、誰もが気持ちよく生活できるように、よいと思うことを行おうとする態度を養う。
- 5 教材名 「わりこみ」 (小学どうとく「生きる力2」日本文教出版)
- 6 主題設定の理由

○児童観 本学級の児童は、明るく友達同士の仲がいい。また、友達思いで人のために動いてあげることができる優しさがある。しかし、よいことと悪いことの区別をつけて行動することの大切さについては十分理解しているとは言えない。また、人数が多いことから、大勢の意見に流されてしまい、自身の正しいと思った意見を言い出せない児童もいる。「まわりの友達が言っているから」

「言われたから」意思決定するのではなく、自分で状況を判断し意思決定をすることができるような自律の心を育みたい。道徳の時間では、気が付いたことや登場人物の気持ちから考えて自身の意見を発表しているが、文章にしてノートに書くときに、自身の意見を織り交ぜながら書くことがもう少し練習が必要である。

i-checkの質問「規範意識」「発信力」の結果は、次の通りである。

質問項目	人数
がっこうやクラスのきまりをまもっていますか。	18/18
おもったことをいうとき、ともだちとかんがえがおなじでも、「〇〇さんとおなじです」だけではなく、じぶんのかんがえをいっていますか。	16/18
がっこうでともだちのかんがえやはっぴょうをきいたときに、しつもんをしていますか。	16/18

この結果から、普段から学校やクラスのきまりを守ろうとしていることが分かる。しかし、自身の意見を聞き入れてもらいたいという要求が先行してしまい、友達の意見や考えに共感することに課題がある。また、発言力のある児童の意見を聞き入れてしまう控えめな面も持ち合わせていることが分かる。

○主題観 本主題は、「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」A「主としてじぶん自身に関すること」の1「よいことと悪いこととの区別し、よいと思うことを進んで行うこと。」にあたる。人が健全な社会生活を営むためには、物事の善悪についての的確に判断し、自ら正しいと信じてるところに従って主体的に行動することが大切である。しかし、現実には、善悪の判断を誤ったり、判断はできても行動に移せなかったりすることがある。これは、利害や損得などの打算的な考えや、自分に自信がもてないために行動できないなど心の弱さに左

右されるからである。価値観が多様化し何が正しいかを判断することも難しくなってきた
 いる現代においては、学ばせるべき重要な基準である。

○指導観 指導に当たっては、割り込みをされて憤る「ぼく」は自分の後ろなら「かまわないか」と
 思うが、ほかの友達の「ずるいなあ」という声から、悪いことは悪いと気づかせ、自身で善
 悪の判断を付けることができる自律の心を育みたい。そのために、補助発問で、善悪の判断
 をさせ、思考ツールで意見を共有する。その後、中心発問では、道徳ノートで「ぼく」の気
 持ちを考えさせる。書くことが苦手な児童には、友達の意見を参考にさせ、自分の思いや考
 えを書くことができるようにする。そして、どのような状況にあっても、人として行ってよ
 いこと、悪いことの区別し行動することの大切さを深く考えられるようにする。本時の学習
 を踏まえて、今後の校外学習でのマナーやルールにも意識を向けさせる。

7 児童に付けたい資質・能力

コミュニケーション能力	課題を発見し解決する力	乗り越える力
○友達の考えを聞いて、自分の思 いを発表できる。	○登場人物の行いから、してはい けないことはどんなことなのか 考えることができる。	○自分のことを振り返り、これか ら、人として行ってよいこと、 悪いことの区別をし行動するこ との大切さを書くことができ る。

8 準備物

場面絵，人物カード，ワークシート

9 本時の学習

(1) 授業の流れ

過程	児童の学習活動	主な発問と児童の心の動き	指導上の留意点等 ◆評価
導 入	(1) 善悪の判断がで きなかつたことやその 時の気持ちを振り返 る。	○ してはいけないことをしてしまったとき、ど んな気持ちになりましたか。 ・自分勝手なことをしてしまった。 ・もう、やめよう。 ・黙っていればばれない。 ・叱られるかな。	○ してはいけないことをしま ったときを振り返り、善悪の判断が できなかつたことについて問題意 識をもたせる。

	<p>(2) 教材「わりこみ」を読んで考え、話し合う。</p>	<p>① 「ぼく」は、どんな気持ちでいさむさんを中心にらんだのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あとから来たのにずるい。 ・僕の順番が遅くなる。 ・僕のほうが先。 <p>② 自分の後ろなら構わないかなと思った「ぼく」は、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の順番は変わらない。 ・待ち時間が遅くなるわけではない。 ・自分には関係ない。 <p>③ 「ぼく」が「やっぱりわりこみはいけないよ。」とはっきり言ったのは、どんな気持ちからでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割り込みはいけない。 ・自分さえよければいいというのでは、いけない。 ・みんなのためにもはっきり言おう。 <p>↓(補助発問や切り返しによる価値の深まり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・してはいけないことを自分で考えないといけないな。 ・みんながルールを守れるように一人一人考えていきたい。 	<p>● 「ぼく」の前にいさむが割り込む場面絵を黒板に張る。</p> <p>○ 教師がいさむになり、いさむをにらみつける「ぼく」を全員で動作化させることによって、自分の順番が抜かされたことに腹を立てている気持ちに共感させる。</p> <p>○ 板書をもとに、順番を抜かされて憤っていた「ぼく」の気持ちと「後ろならいいか」と思った「ぼく」の気持ちを対比させることにより、自分の損得で考えていることに気づかせる。</p> <p>○ 思考ツールのベン図を用いて、「ぼく」の考え方が良い考えなのか悪い考えなのか考えさせる。</p> <p>○ 改めてベン図を用いて、「ぼく」の行動に対して良いか悪いか考えさせる。</p> <p>★ 「ぼく」の考える「よいこと、よくないこと」について多面的・多角的に考えることができたか。(発言・話し合い・動作化の様子)</p>
<p>展開</p>	<p>(3) 自分自身の体験を振り返り、これからの生活について考える。</p>	<p>○ 注意できたことや、注意している人を見たことがありますか。そのとき、どんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すっきりとした気持ち。 ・注意してよかった。 ・注意できるなんてすごい。 	<p>○ 自分の経験をもとに、これからの生活の在り方について考えられるようにする。</p> <p>○ 道徳ノートに書かせる。</p> <p>★ 善悪を判断し、よいことを進んでやろうとする思いが深まっているか。(道徳ノート・発言)</p>
<p>終末</p>	<p>(4) 本時の学習をまとめる。</p>	<p>○ 今日の学習で学んだことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくないことをはっきり言うことは大切。 ・よくないことをしている人がいたら、自分さえいいのではなく、注意すること。 ・注意をすることで、みんなが気持ちよく生活できるということ。 	<p>○ 「わかったこと」を発表させることで、それぞれの学びを整理し、学んだ指導内容のよさを実感できるようにする。</p>

(2) 本時の板書計画

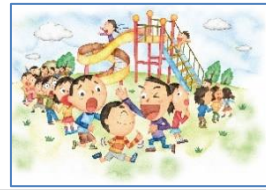
してはいけないこと

わりこみ

○いさむさんをにらんだとき

・あとから来たのにずるい。

・ぼくが先だ。



○後ろならかまわないと思ったとき

・ぼくにはかんけないから。

・ぼくがおそくなるわけじゃないからいいや。

◎「やっぱりいけない」とはっきり

言ったときどんな気持ちだったかな

・やっぱり，わりこみはいけないな。

・自分さえよければいい

というのではいけないな。

・みんなのためにはっきり

言おう。



人として、

おこなったらいいと思うこと

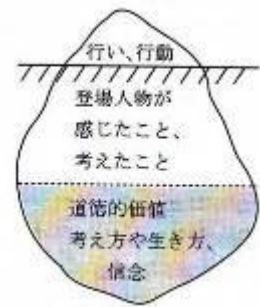
よくないことははっきりと言うこと

ルールをやぶる

みんながよろこぶことをしてあげること あいてにいやなことをする

おこなってはいけないと思うこと

【道徳的価値の自覚を深める指導になるために】
 —考えさせる道徳・議論する道徳—



行い 行動 (中心発問に関わって)	<ul style="list-style-type: none"> ・「わりこみはいけないよ。」とはっきり言いました。
登場人物が 感じたこと 考えたこと	<ul style="list-style-type: none"> ○僕の前に来て欲しくないな。 ○割り込みはいけないな。 ○やっぱりルールを守らないといけないな。 ○僕の後ろならいいと思ったけれど、後ろのみんなも嫌な思いをするよな。 ○ルールを守ったほうがみんな気持ちよく過ごすことができるな。 ○悪いことはしないでおこう。
道徳的価値 考え方や生き方 信念	<ul style="list-style-type: none"> ○よくないことをはっきり言うことは大切だ。 ○自分のことだけを考えるのではなく、悪いことは悪いと言えるようになりたい。 ○きちんとルールを守るとみんながうれしい。 ○してはいけないことは何か、自分で考えて行動できるようになりたい。 ○注意をすることで、みんなが気持ちよく生活できるようにしたい。